

認知症のお薬

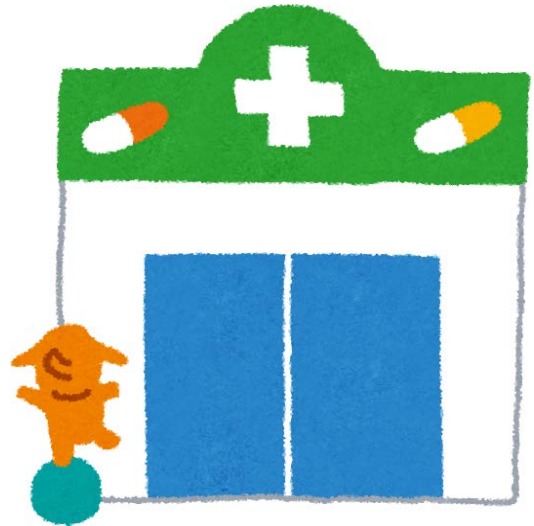
認知症には大きく分けて2つの異なる働きの治療薬があります。

認知症の人では、アセチルコリンという神経伝達物質のはたらきが低下していると言われています。

このアセチルコリンを分解してしまうアセチルコリンエステラーゼ（以下、AChE）という物質の作用を阻害し、認知症の進行を抑制するとともに行動や感情を活発にするAChE阻害薬（1）がその1つです。

また、認知症の患者さんではグルタミン酸の受容体が過剰に活性化してしまっていることが知られています。

これを抑える薬がメマンチン（2）です。認知症の進行を抑制するほか、興奮を抑える効果もあります。



1. AChE 阻害薬

現在使用されているAChE阻害薬は3種類あります。

① ドネペジル（商品名：アリセプト）

国内初の抗認知症薬です。1日1回服用します。よくみられる副作用は、食欲不振、嘔気、下痢などの消化器症状です。剤形が豊富でスタンダードな錠剤のほか、錠剤が飲み込みにくい場合に口腔内崩壊錠、内服ゼリー、細粒、ドライシロップがあります。内服ゼリーは、はちみつレモン風味です。

② ガランタミン（商品名：レミニール）

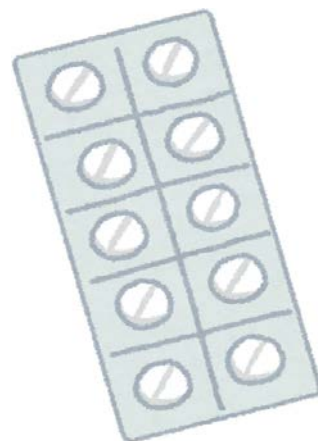
1日2回服用します。副作用は悪心、嘔吐、下痢、食欲不振が多く、副作用の軽減のため食後の服用が推奨されています。剤形は錠剤、口腔内崩壊錠、内用液があります。ガランタミンはAChE阻害作用の他に、神経伝達物質に対する感受性を高める効果も持っています。

③ リバスタチグミン（商品名：リバスタッチ）

貼付剤です。内服にムラがある方や誤嚥の危険がある方にも使用していただけます。1日1回貼り替えます。副作用は悪心、嘔吐、食欲不振、パッチを貼付した箇所の皮膚炎などがあります。また、増量時にふらつきや眠気を生じることがあるため、注意が必要です。パッチは毎日違う場所に貼り、かぶれに注意しましょう。翌日貼る予定の場所に保湿剤を塗ることも効果的です。ただし、貼る直前に保湿剤を塗ると剥がれやすくなってしまいます。

2. メマンチン（商品名：メマリー）

中等度以上の認知症に使用され、1日1回、食事の時間と関係なく飲んでいただけるお薬です。この薬は腎臓から排泄されるので、腎臓が悪い方は薬を減量する場合があります。眠気やめまいを起こすことがあるため注意が必要です。他のAChE阻害薬と一緒に服用することも可能です。現在の剤形はスタンダードな錠剤のみですが、5月に口腔内崩壊錠の発売が予定されています。



【使用上の注意】

認知症のお薬は悪心などの副作用のため、少ない量から開始し、徐々に増量します。そのため、効果が現れるまでに少し時間がかかってしまいます。

また、認知症のお薬は途中でやめてしまうと急激に症状が進行することがあるため、医師の指示通りに服用または使用していただくことが認知症の治療では重要です。しかし、認知症の患者さんは認知機能の低下により薬の管理がご自分では難しいことがあります。ご家族や介護の方の協力がとても大切です。

このように、認知症の薬は様々な剤形がありますので、患者さんだけでなく介護する方が介助しやすい薬をお選びいただくことも重要です。ぜひご相談ください。

薬剤部 黒澤 真帆